

●都市計画マスタープラン策定

自然と共生する 健康生活都市

町では、今年度の完成をめざし策定作業を進めてきた「明和町都市計画マスタープラン」。このプランは、概ね20年後の長期的なまちづくりの方針を描くもので、住民の皆さんと行政との協働作業により進めていくものです。

今月号では、全体構想の将来像を実現するために考えられる6つの柱について、一部ご紹介いたします。なお、詳細については、後日配布される「ダイジェスト版」をご覧ください。

まちづくりの

理念と将来像

町民憲章をまちづくりの柱とし、環境にやさしく、充実した地域社会を形成するために「自然と共生する健康生活都市」と定めました。

【全体構想】

1 都市構造の明確化

町および近隣の市や町の状況を踏まえて、※「拠点」と「軸」を位置づけることにより、道路や公園、下水道などの整備を計画的に進めていきます。※「拠点」とは、商業、業務、生産やレクリエーションの各エリアであり「軸」とは、国

道や県道、町道などのほか、将来計画される構想路線を含む道路。

2 土地利用の方針

限られた土地を有効に活用するため、土地利用の明確化を図るとともに、業務・商業・工業・住宅・レクリエーション・農用地の各ゾーンを位置づけ、計画的な土地利用を推進していきます。

3 道路整備の方針

県や近隣市町などの広域計画との整合を図りながら、一体的な道路網整備と地区の状況にあわせて幹線道路以外の生活道路を整備し、住民の生活の利便性を高めるとも

に、歩道の整備を推進し、安全な通行の確保に努めていきます。

4 公園・緑地の整備方針

子どもから高齢者、全ての人に安らぎのある生活を提供できるよう、各地域に身近な公園や遊び場を整備していきます。また、貴重な資源である利根川の河川敷を有効に活用するとともに、各地域に残る緑を保全していきます。

5 下水道整備の方針

各地区を公共下水道、農業集落排水のエリアに分けて、住民生活の利便性の向上と河川環境の保全に努めていきます。

